

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【公開番号】特開2014-222776(P2014-222776A)

【公開日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-065

【出願番号】特願2014-157711(P2014-157711)

【国際特許分類】

H 01 G 9/052 (2006.01)

H 01 G 9/00 (2006.01)

H 01 G 9/04 (2006.01)

B 22 F 1/00 (2006.01)

B 22 F 5/00 (2006.01)

【F I】

H 01 G 9/05 K

H 01 G 9/24 C

H 01 G 9/04 301

B 22 F 1/00 R

B 22 F 5/00 H

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年10月21日(2015.10.21)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タンタル出発原料粉末を流体中で、粉碎媒体により、高エネルギー粉碎機を用いて、10時間以下の時間、粉碎して少なくとも $1.5\text{ m}^2/\text{g}$ のBET表面積及び1~50のアスペクト比を有するタンタル粉末を生成させることを含むタンタル粉末の製造方法であり、

上記製造方法により得られたタンタル粉末が電解キャパシターアノードに形成された場合のキャパシタンスが少なくとも $190,000\text{ CV/g}$ であり、漏れ電流が $5.0\text{ nA/CV}$ 未満である

ことを特徴とするタンタル粉末の製造方法。

【請求項2】

前記タンタル出発原料粉末が、インゴット由来及び/又はナトリウム還元粉末であることを特徴とする請求項1記載のタンタル粉末の製造方法。

【請求項3】

前記高エネルギー粉碎機が、遊星形ボールミル、回転空気流ジェットミル、もしくは対向ジェット流体エネルギーミルを含むことを特徴とする請求項1又は2に記載のタンタル粉末の製造方法。

【請求項4】

上記高エネルギー粉碎機が上記粉碎媒体に $0.3\text{ G} \sim 2.5\text{ G}$ の力を与えることを特徴とする請求項3に記載のタンタル粉末の製造方法。

【請求項5】

少なくとも $1.5\text{ m}^2/\text{g}$ のBET表面積及び1~50のアスペクト比を有するタンタリウム粉末であって、1400で10分間焼結され、20Vの化成電圧( $V_f$ )で形成された

場合のキャパシタンスが少なくとも 190,000 CV/g であり、DC漏れ電流が 5.0 nA/C V 未満であることを特徴とするタンタル粉末。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のタンタル粉末を有するキャパシターアノード。

【請求項 7】

前記タンタル粉末が約 1200 ~ 1750 の温度で 焼結されていることを特徴とする請求項 6 に記載のキャパシターアノード。